



週刊

こんにちは日本共産党です

ハ千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第373号

2018年7月16日

発行

日本共産党

ハ千代市議会議員団

ハ千代市大和田新田

312-5

西日本地域の未曾有の水害

6月末から活発な梅雨前線が停滞し、西日本を中心に記録的な豪雨になりました。堤防の決壊や土砂災害により死者が、14府県で200人以上、不明60人超の大災害となりました。また避難者が7000人にも上ります。被害の全貌が見えず、捜索活動も難航しています。ボランティア活動も50万人規模で必要とされています。

避難指示・警報に続き大雨特別警報が出されて1週間、想像を絶する豪雨のもとで、どうしたら身の安全を守ることができるのか、地震や台風・豪雨による災害列島と言われる日本で、いつどこで災害が発生してもおかしくないと言われている中、国民が安心して生活することができるためにも、国の責任は重大と言わなければなりません。



的確な情報を受け避難行動の開始を

ハ千代市でも、H25年の26号台風により1号幹線沿いの地域が床上浸水の被害がありました。サイレンが鳴らず、適切な指示がなくて、駐車してあった車が浸水してしまうなど予想外の被害がありました。

夜間の防災無線では戸締りをしているために聞き取りにくいことや気づかないこともあります。それを解消するために防災ラジオを設置することもできますが、今ではハ千代市は電話応答サービスで携帯電話やスマートフォンからも24時間防災情報を得ることができます。以前は有料でしたが、日本共産党の議会質問で今では無料になり、フリーダイヤル(下記案内)で情報がキャッチできます。市からの適切な情報の提供とともに、情報を得たら隣近所と声を掛け合って行動しましょう。

災害時の救助・救援は政府の仕事

大きな災害が予想される場合は国が先頭に立って、人命救助や救援活動をしなければなりません。今回の大災害は異常気象による予想以上の豪雨になったこともありますが、政府が適切な対応を行わなかったことが問題になっています。

7月5日、近畿3府県の16万人超に避難指示・勧告。午後、気象庁が大雨の警戒としては異例の臨時記者会見。6日も7日も大雨で被害者が続出。8日にやっと政府が「非常災害対策本部」を設置。これこそ政府による災難といわなければなりません。

日本共産党国会議員団は、6日「2018年7月豪雨災害対策本部」を立ち上げ、情報収集や被害実態の調査・救援や復旧の全力を挙げています。ハ千代市議団も駅頭宣伝で救援募金を始めています。高校生や外国人労働者などから温かい募金をいただきました。

ハ千代市防災情報は電話応答サービスで
0120-970-911